

2024年2月13日

スポーツを通じて未来人材の成長を支援するチャレンジ支援事業
「YMFS スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」
2024年度(第18期生)助成対象者30件を決定

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)は、2024年度(第18期生)「YMFS スポーツチャレンジ(体験/研究)助成」について、体験助成15件、研究助成15件、計30件(総額2,874万円)の助成対象者を決定しました。助成金贈呈式は、2024年3月末に実施します。

本助成制度は、目標を掲げ達成に至るまでのプロセスを重視しています。四半期報告、中間報告会、成果報告会によるPDCAサイクルを実践しながら、高い専門性を持った審査委員からのアドバイスや、オンラインも活用した助成対象者間での異分野交流など、成長機会を提供する支援プログラムが特徴です。

2024年度の助成対象者の平均年齢は、体験が17.1歳、研究が30.4歳と未来人材が集まっており、成長のために学び・刺激し合う機会と、チャレンジを加速するサポートを提供します。

2024年度(第18期生)の助成概要 ※活動期間は、2024年4月から2025年3月

プログラム	申請件数	採択件数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	90件	15件	1,440万円
スポーツチャレンジ研究助成	58件	15件	1,434万円
計	148件	30件	2,874万円



※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当: ^{みすみ}三角)

2024 年度(第 18 期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (2024 年 2 月 1 日現在)

「体験助成」は、アスリート・指導者・審判など各種体験活動に対して助成金を交付するもので、3 つのカテゴリで構成しています。

- ジュニア(上限 50 万円):ジュニア世代の国際大会で実績を有する者
- ベーシック(上限 100 万円):国際レベルでの活躍を目指す者
- アドバンスド(上限 150 万円):国際レベルの実績を有する者

※五十音順

区分	氏名	種目	チャレンジテーマ
ジュニア	おおしま あかり 大島 朱莉	ウインドサーフィン(IQFOIL) /選手	ユースワールド、ジュニアワールドで表彰台を目指す
	くろやま じん 黒山 陣	モータースポーツ(トライアル) /選手	世界チャンピオンになる
	こばやし さとや 小林 賢弥	レスリング/選手	U17 世界選手権で優勝、ロス五輪出場を目指す
ベーシック	かとう あかね 加藤 茜	陸上競技(パラ)/選手	100m から 400m への種目変更とパラリンピック出場権獲得、競技を通じ魅力を伝える
	でぐち みほ 出口 美帆	セーリング/選手	日本代表として世界選手権で活躍し、競技の魅力を伝える
	ながせ りの 長瀬 凜乃	フェンシング(フルーレ)/選手	2028 年ロス五輪を目指し、ジュニアおよびシニアでの世界大会上位入賞
	のぐち りゅう 野口 颯	ウインドサーフィン(ウェイブ) /選手	U-20 世界チャンピオン、プロメンズクラスで常時 top32 入りを目指す
	はっとり はるか 服部 春花	セーリング/選手	ユースワールド入賞、ユースセーラーの新たな可能性の扉を開く
	ふじむら いっけい 藤村 一慶	フリースタイルスキー(モーグル) /選手	2026 年ミラノ五輪出場、2030 年冬季五輪でメダルを獲得する
	ほんま みづき 本間 美月	フェンシング(エペ)/選手	2028 年ロス五輪で女子エペ金メダルを獲得する
	やまだ のどか 山田 和花	空手/選手	世界ランキング TOP10 に入り、2025 年の世界選手権で優勝を目指す
	ゆみなが たかゆき 弓長 昇主	フェンシング(エペ)/選手	世界ジュニア選手権金メダル獲得、世界シニアランキング TOP16 を目指す
	よしだ はな 吉田 陽菜	フィギュアスケート/選手	2026 年ミラノ五輪出場
アドバンスド	いとう まりん 伊藤 真凜	フリースタイルスキー(モーグル) /選手	2026 年ミラノ五輪でメダル獲得
	ささき かずも 佐々木 颯杜	アイスホッケー/選手	NCAA から北米プロリーグに挑戦。日本代表としてオリンピックでプレーする

2024年度(第18期生)スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (2024年2月1日現在)

「研究助成」は、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付するもので、2つのカテゴリーで構成しています。

- 奨励(上限 60 万円): 大学院博士課程に在籍中または学位未修得の若手
- 基本(上限 120 万円): 研究職として活動に従事する研究者

※五十音順

区分	氏名	分野	チャレンジテーマ
奨励	いぬぼしり なぎさ 犬走 渚	自然科学	行動科学と計算神経科学の融合的視点から手足の協調運動の制御メカニズムを解明する
	しみず じゅんや 清水 純也		「運動効果の個体差が生じるメカニズム」を明らかにする骨格筋エピジェネティクス研究
	すずき ともひろ 鈴木 智大		3次元スポーツ動作自動分析のための画像処理技術の研究
	のなか えり 野中 愛里		大きな力発揮を必要とする投擲競技においてより少ない力で投擲物を加速させるための力の加え方と身体の動かし方を探る
	ふじもり としひで 藤森 俊秀		最大疾走時の筋腱相互作用に迫る
	あいば えりこ 相羽 枝莉子	人文社会	感情表出を抑えることは有効か？ -感情表出抑制による心理・パフォーマンスへの影響-
基本	あとう さとる 阿藤 聡	自然科学	毛細血管支配は運動抵抗性を克服するための標的となるか？
	せ とがわ すすむ 瀬戸川 将		スキル習熟を駆動する脳内機構の解明
	たけむら あい 竹村 藍		脱トレーニング時の軽度な高気圧高酸素環境への滞在はトレーニング効果を持続させるか
	はかりや なたか 秤谷 名鷹		中枢神経系再編の機序解明:パラアスリートに着目して
	はぎお しょうた 萩生 翔大		最適制御に基づく上肢運動と立位姿勢制御の統合的理解 -全身動作の制御機序の解明を目指して-
	はやし ゆうき 林 勇樹		可搬型パン・チルト機構の自動制御による汎用型競技会映像収録システムの開発
	ひろの てつや 廣野 哲也		運動単位活動に着目した関節角度の違いによる筋カトレーニング効果の検証
	まえみち としひろ 前道 俊宏		踵部痛の病態解明に向けた組織及び超音波画像研究
	あべ まさる 阿部 衛	人文社会	ローマ帝政前期における競技文化に関する研究